

東海道新幹線 防犯カメラのネットワーク化によるセキュリティ向上について

東海道新幹線においては、お客様の安全を確保するため、これまでもハード・ソフトの両面でセキュリティの向上に取り組んできました。

さらなるセキュリティの向上に向けて、駅などの防犯カメラをネットワーク化して、一元的に監視する体制を整備しましたので、お知らせします。

1. 駅防犯カメラを一元的に監視する管理センターを開所（別紙1）

- ・新幹線全17駅の防犯カメラ画像を24時間体制で一元的に監視する管理センターを、2020年5月29日に開所しました。
- ・駅の防犯カメラと管理センター及び指令所をネットワーク化し、管理センターでは、各駅での駅員の目の届きにくい箇所も含めて、一元的な監視を行います。また、指令所では事象発生時に駅の防犯カメラ画像を用いて状況把握することによって、より迅速な対応を可能とします。
- ・非常時には、駅防犯カメラの画像を警察に伝送し、より迅速かつ適切に、警察と連携した初動対応を行う体制を整えました。



管理センター内観

2. 車内防犯カメラと指令所のネットワーク化（別紙2）

- ・2020年3月より順次、指令所において列車内の防犯カメラ画像を個別に取得できるようネットワーク化を進めています。車内で非常ボタンが扱われた場合には、車内防犯カメラの画像を指令所へ自動伝送して、より迅速な初動対応を可能としています。工事の完了時期は、2021年9月の予定です。
- ・車内防犯カメラのネットワーク化に加えて、指令所から個別の列車のお客様に向けて直接車内放送ができるよう設備改良を進めており、これらにより、不測の事態が発生した際に、乗務員が避難・誘導等の対応に専念できる体制を整えています。

管理センター

警察

非常時には警察へ
画像を伝送・連携

新幹線全17駅の
防犯カメラ画像



新幹線全17駅



指令所



ネットワーク化
(=情報共有)

○新幹線全17駅の防犯カメラ画像を管理センターに集約し、24時間体制で一元的に監視。指令所ともネットワーク化して、事象発生時に迅速な対応が可能になる。

○非常時に、警察へ画像を伝送することも可能とし、より迅速かつ適切に、警察と連携した初動対応を行う体制を整える。

＜車内防犯用カメラ画像の新幹線総合指令所への伝送： 本年3月より順次開始 ＞

①車内異常発生



②非常ボタン扱い



③車内の画像を
指令所へ自動伝送



④関係箇所へ速報

警察通報



警察

他の乗務員・
警備員等指示



※グループ通話システム:スマートフォンにて関係者間のグループ通話を可能にするシステム

- 非常ボタン扱いにより、車内のカメラ画像が指令所に自動伝送され、指令所から乗務員などに迅速に必要な指示が実施できる。
- 非常時に、当該車両のお客様に向けて指令所から車内放送ができる。これにより、乗務員が避難・誘導等の対応に専念できる。
- グループ通話システムにより、乗務員、パーサー、警備員、指令員間で情報共有を行い、関係者が一致協力した対応を実施できる。